

# あらくさ

編集責任者：歌房哲也

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷11584  
 生活介護事業所 あらくさ  
 TEL 0847-67-3410 FAX 0847-67-3439  
 E-mail [arakusa@f2.dion.ne.jp](mailto:arakusa@f2.dion.ne.jp)  
 〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷1215-1  
 就労継続支援B型事業所 夢工房ねむの木  
 TEL 0847-67-5051 FAX 0847-67-2080  
 E-mail [arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp](mailto:arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp)  
 地域活動支援センター ふらっと  
 TEL 0847-67-5052 FAX 0847-67-2080  
 E-mail [arakusa-flat@r7.dion.ne.jp](mailto:arakusa-flat@r7.dion.ne.jp)  
 あらくさホームページ <http://www.pionet.ne.jp/~arakusa>



## 新年度を迎えて



常務理事  
歌房哲也

厳しい冬が過ぎ、春風が心地よい季節となりました。  
 平素より、関係各位並びに地域の皆様には、社会福祉法人あらくさに対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当法人は、新たに仲間を迎え、利用者六十八名、職員三十四名で新年度がスタートしました。振り返ってみると、障害のある人たちの「障害があっても地域で働き、暮らしたい。」といった切なる願いが出发点となり、全国各地で作業所作り運動が広がる中、ここ甲奴町に待望の作業所が出来たのは三十年前のことです。当時は、場所、人、お金も十分に保障されていない状況で、ここまで歩み続けることができたのは、地域の皆様をはじめ、関係機関、そして、全国の仲間たちとの運動と連帯の力があつたからこそだと改めて感じています。この間、障害者福祉施策は着実に前進し、それに伴い障害のある人たちの生活も良い意味で大きく変わってきたことは間違いありません。しかし、その一方、福祉の市場化により福祉現場で大きな混乱が生じていることも事実です。近年、福祉の市場化が急速に進み、補助金目当ての安易な事業参加により、事業所の廃業、倒産が相次ぎ、多くの障害のある人たちの仕事と暮らしが奪われています。私たちは、真の公益を追求し、そして、権利保障の視点に立った実践こそが、福祉に従事する者の最大の使命であると考えます。そのことを職員の共通認識として事業に取り組みます。

平成三十年度は障害福祉サービス費等及び介護報酬が改定されます。報酬については、表向きはプラス改定となっておりますが、その内容は「成果」が色濃くなっており、安定した事業運営をするために必要な基本報酬は減額された事業もあり、益々、厳しい事業運営を迫られることとなります。当法人についても、前年度と比較して報酬はマイナスとなり、ただでさえ厳しい人材の確保がさらに困難な状況になりそうです。この「成果」を基礎とした考え方が、当法人のような非営利である福祉分野だけではなく、医療、養育等の分野にも導入され、経営、実践等において大きな影響を及ぼすようになりました。主として公金で運営されている以上、国民が納得できる「成果」を上げることは重要なことです。しかし、全てが「多い」「少ない」「できる」「できない」等、客観的に評価できるものばかりではありません。自分の持てる力で頑張り、そして、その過程や結果から得られた喜び、充実感、達成感等は何事にも代え難く、内面的な豊かさを広げることが、次のステップの原動力となります。私たちが何よりも大切にしなければいけないのは、一人ひとりの思いや願いに寄り添い、「頑張った自分」を自身が認め、自己肯定感を持つことが出来るような利用者主体の実践です。

これからも利用者、役員一同が一丸となり、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現に向けて頑張りますので、今後もご理解とご協力をお願い致します。



# きょうされん第41次国会請願署名・募金活動 ～障害者福祉施策の改善を求めて！～

「障害者権利条約」では、国際ルールとして「障害のあるなしに関わらず、人として当たり前に生きる権利を国が保障していく」ことを求めています。日本は、2014年に「障害者権利条約」に批准しましたが、障害のある人の権利が十分に保障されているとは言えません。障害基礎年金を受給している人でも、生活費と支援を受けるための費用を支払うのは厳しく、年齢を重ねても多くの方が家族に頼らざるを得ない生活をしています。また、住む場所によって生活を支援するヘルパーの数や社会資源に格差が生じており、必要な支援が受けられない人もいます。日本の障害関連予算は先進国の中でも低く、障害のある人がない人と同じように働き、暮らすための制度はまだ不十分です。

きょうされんでは、障害のある人の権利を守り、地域であたりまえに暮らすことを実現するために、現状を国に訴え、施策の改善を求める署名・募金活動を毎年行っています。あらくさでも、障害のある人の現状を地域の方に知ってもらい、少しでも多くの方に協力いただけるように取り組んでいます。

## 私たちの声を聞いてください！～街頭署名活動を行いました！～

3月21日(水)に三次市内のショッピングセンターで、利用者21名、職員7名で、「きょうされん第41次国会請願署名の街頭署名・募金活動」を行いました。多くの人に障害のある人の生活現状や思いを伝えると共に、安心して地域で暮らすことができるよう福祉制度の改善を訴えました。

今年は、正面玄関を含め3か所で署名活動を行いました。参加した利用者は、最初は緊張していましたが、「障害年金の引き上げを求めています！」「今の障害者総合支援法のままでは困ります！」などと自分たちの思いを伝えることができました。

寒い中、足を止めて話を聞いていただいたり、「大変だね、応援しています！頑張って！」と心強い言葉がけが励みになり、署名の呼びかけにも一層の力が入りました。

今回の街頭署名活動では、37筆の署名と多くの募金を集めることができました。

“誰もが安心して暮らせる地域”にという願いを込めて、これからも、障害のある人の声を、地域の方に届けていきたいと思ひます。



### 参加者からの声

#### 「利用者より・・・」

- 通りかかった人に、私たち障害者が困っていることを伝えるのは難しかったですが、頑張りました。(池口さん)
- 雨が降る中、足を止めて、署名・募金にご協力して頂いてありがたかったです。福祉制度を改善していけるよう頑張ろうと思いました。(加藤さん)
- 雨の中だったので、お客さんも少なく残念でした。しかし、仲間で協力し合って署名の声かけをして、署名や募金を集めることができ良かったです。来年こそは、もう少し自分たちの思いを地域の方々に伝えていきたいです。(久保さん)



皆様にご協力いただいた署名は、5月24日(木)に国会に届けます！  
あらくさでは、まだまだ、署名・募金活動を行っています。ひきつづきご協力よろしくお願ひいたします！！

(担当：原)



# 投票 1人ひとりの一票で、みんなの代表を決めました！！



選挙の様子

去る3月2日(金)に、あらくさ仲間の会(あらくさ利用者自治会)の自治会選挙を行いました。2年前に初めて選挙で役員を決め、任期が終わる今年、利用者から立候補を募り候補者6名の中から、会長を決める選挙を行いました。

投票の前に、立候補者それぞれが“自分が会長になったらどんな自治会活動をしていきたいか”を皆の前で演説しました。演説前には緊張で不安な表情をしていた立候補者も、終わった後、みんなから拍手を受けて安心した表情をしていました。



演説の様子

投票では、利用者一人ひとりの意思決定を支援するための工夫をしました。投票用紙に立候補者一人ひとりの「名前」と「顔写真」を載せ、自分が選びたい人にスタンプを押してもらうようにしました。

実際に投票用紙を前にして、すぐにスタンプを押して投票をする人もいれば、誰に押すか悩みなかなか決まらない人もいましたが、みんな自分で決めて投票する事が出来ました。

開票は選挙管理委員(利用者・職員)立会いの下、投票日に行い、期日前に投票を行った人の票と合わせて、新役員・会長が決まりました。

新たな6名の役員を中心に、これまで以上に利用者が意見を出し合い、活発な自治会活動になることが期待されます。



演説の様子



## 新役員の皆さんに、意気込みを語ってもらいました！



久保尚子さん(会長)

役員だけではなく、利用者みんなの意見を大切に、みんなが通いやすいと思えるあらくさにしていきたいです。

平成30年・31年度・利用者自治会、新役員の皆さん

水永剛さん(常任委員)

他の役員の人々と協力して頑張りたいです。

升田伸生さん(監事)

みんなの意見をしっかり聞いて、みんなが楽しいと思えるあらくさになるよう頑張ります。

宮本真由美さん(監事)

積極的に意見を言って、自治会活動をがんばります！

倉石博希さん(副会長)

笑顔がたくさん溢れるあらくさになるようにがんばっていききたいです。

遠藤貞子さん(副会長)

新しい役員の人たちと協力して、みんなを優しく見守っていききたいです。

(担当：川辺)



# いただきました (H30年1月5日~H30年3月31日まで)

金一封ご寄付 (順不同)

田中清様 原田明様 自然を見守る会様 伊達義悟様 匿名様

野菜・食品・物品等のご寄付 (順不同)

池田キヨ子様 竹田夏子様 黒田晃武様 徳山正恒様 藤原明子様 風呂節子様 藤原靖栄様 都志見博様 高橋信子様  
水越美智子様 匿名様



ボランティア (順不同) 末藤朱美様

いただいた食材は給食等に使用させていただきました。この他にも、アルミ缶・紙等の資源回収にご協力いただきました。ありがとうございました。記載もれがありましたら、どうかお許しください。

## 助成金を頂きました

日本財団様から福祉車両助成事業の助成金交付を受け、スロープ式で乗降しやすい、車いす対応車【軽自動車・ホンダN-BOX (4WD)】を購入しました。

利用者の送迎や、その他の色々な作業・活動等にも役立てていこうと思います。

本当にありがとうございました。

(担当：梅木)



## 職員募集



軽作業 (タオルたたみ) の様子

- 作業・生活支援員 (常勤・45歳以下) : 3名
- 作業指導員 (パート) : 2名

あらくさに通所する障害のある方への生活支援を行うほか、創作・生産活動の支援を行います。

- 【具体的には】・食事介助、入浴支援 ・創作活動 (絵・工作)
- ・パン、クッキー、焼き菓子の製造・販売
- ・農作業、リサイクル活動 (資源回収)
- ・レストラン・配食サービスなど 【※経験不問】

- グループホーム世話人 (夜勤) : 1名

【具体的には】障害のある方が共同生活を送る『にし色ホーム』で買い物・食事作りや掃除など、その他の日常生活の支援を行います。 【※経験不問】

詳しい内容はハローワーク、もしくはあらくさまでお気軽にお電話ください。(※随時見学可能)

(連絡先) 0847-67-5051 担当/国岡



外出活動も行っています